

安威川ダムJV通信



安威川ダムJV
Vol.6

発行：大林組・前田建設工業・奥村組・日本国土開発 特定建設工事共同企業体 安威川ダムJV工事事務所一同

topics

工事現場トピックス

3月31日現在、**堤体左岸頂部、小段排水**を施工中。



5号栈橋補強土壁が完成しました。

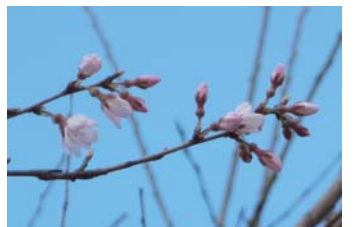


生保地区・車作地区にて ヤマザクラの植樹会が開催

平成二十七年三月七日に生保地区生保倶楽部横広場にて、ヤマザクラ（エドヒガン）の植樹会を開催しました。また、翌日の三月八日にも車作地区、車作大橋下のピオトープ建設地近くにて植樹会が開催されました。この植樹会は安威川ダムの本体工事に伴い、湛水する箇所（旧生保地区）にヤマザクラ（エドヒガン）の自生が確認されたことから、



工事の期間中及び工事終了後も生息が続くよう、ダム近隣地区の皆様への感謝の意を込めまして、JV及び大阪府にて企画したものであります。当日は両地区とも多くの方々に参加して頂きました。植樹会に参加していただいた子供達には、土入れや水やりを行って頂きました。皆様のきれいな花を咲かすように！との思いが伝わったのか、二週間後には開花が確認されました。今後も木がますます大きくなり生育が続くよう、地区の皆様もあたたかい目で見守って頂ければと思います。



こんにちは、株式会社山下技建の山下です。安威川ダムは、水をせき止める粘土質な土（コア）を中心とし、その両面にコアを保護する砂利や砂（フィルター）、水の力を受け止める岩石（ロック）を積み上げて（盛立）造るロックフィルダムですが、私は、これらの材料や造ったダムの機能や性質を分析や試験で日々確認する事を専門としています。これまで全国八か所のダムで仕事をしてきました。分析や試験では、比重、水分量、粒の大きさや構成、粘性、突き固めた時の締めり具合（密度）や水の透し具合、強さなどを調べます。ダムの本格的な盛立までには一年以上ありますが、その準備として材料を採取する場所や仮置き場や混合場所、また、実際のブルドーザやローラを用いて行う試験盛立で幾重ものチェックを行っていく予定です。土や岩石の性質は人間と同じ様に様々ですが、百年二百年経っても安全で安心なダムを作るような確かな仕事をしたいと思っています。



山下 博臣 やましたひろおみ
株式会社 山下技建

現場の達人 vol.6

毎号リレー方式で、安威川ダムJV工事事務所の「現場の達人」を紹介します。

ダム工事を支える重機たち。

【今月の重機】

今月の重機は五百トン級割岩専用機。パワースプリッターです。ドリル穿孔とクサビ割岩を繰り返し、掘削箇所に出てきた岩盤を砕いていきます。五百トンの力で、ブレーカーなどでは歯が立たない硬い岩盤も短時間に砕くことができます。



それに加え、従来工法よりも振動・騒音・飛石が少ないため、現場環境に左右される事なく作業が可能です。

安威川ダムファンづくり会で立ち上げた総合情報サイトが公開されています。
URL: <http://www.aigawa.jp/>



平成二十七年四月の「安威川ダムJV通信」いかがでしたか？

今月はヤマザクラ（エドヒガン）の植樹会の様子を中心にお知らせいたしました。

次号では新年度に新しく安威川ダムJV工事事務所の職員になった皆様を紹介していきます。ご期待下さい。

安威川ダムJV工事事務所ではの皆様より「地域トピックス」を幅広く募集しております。地域のみなさまと共に作り上げていく「安威川ダムJV通信」を宜しく願います。

大林組・前田建設工業・奥村組・日本国土開発
特定建設工事共同企業体
安威川ダムJV工事事務所一同

TEL 072 (648) 5464
FAX 072 (648) 5465